

社協だより

福祉とさちょう

NO. 111

令和4年7月発行



社会福祉法人 土佐町社会福祉協議会

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内

電話 82-1067 82-1069 (FAX)

メールアドレス tosasameura@shirt.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.tosa-shakyo.or.jp>



令和3年度事業報告

「やっぱりここにおいてよかったねえ」と言える福祉のまちづくりをめざすことを使命として、①福祉の心を育てる町に

②生きがいとやすらぎのある町に

③だれもが安心して生活できる町に

④子どもたちが健やかに育ち、成年が輝ける町に

という4つの理念をかかげ、事業に取り組んでいます。

法人運営部

理事会、評議員会の運営や職員体制の整備、広報活動に努めています。職員が目標をもって業務にあたり、組織力の向上に取り組むためのシステム創りをすすめました。嘱託職員、パートタイム職員も含め働きやすい職場環境をつくり、福祉が衰退することがないように、安定的な職員の確保に努めました。「福祉とさちょう」では地区長や嶺北高校のご協力を得てアンケートを実施し、ご意見もいただきました。ホームページやフェイスブックの運用により身近な広報誌づくりの取り組みを進めました。

在宅福祉部

訪問介護、障害者相談支援、生活困窮者自立相談支援等、個別ケースへの対応に取り組んでいます。多様な生活課題が見えてきた中、「生きづらさ」を抱えている方達への対応や、個別支援をしていく為に、アセスメントの重要性を再確認しました。事例検討会を実施し、その人の持っている強みやニーズ把握に努め、支援に取り組みました。電話や来所での相談対応「きいてねっと」では、経済的な事や体調の事、家族の事など生活上の身近な心配事を受けそれぞれ適切な対応に努めました。

地域福祉部

あったかふれあいセンター、ボランティアセンター、地域福祉活動計画等、地域との協働事業に取り組んでいます。「集う」事の大切さを痛感しながらウィズコロナという新たなつながりづくりをすすめ、心の交流を絶やさない活動に取り組みました。さらに地域福祉活動計画推進においても徐々にではありますが、各地区での取り組みも再開されはじめました。地域活動支援交付金も活用いただき、地域の皆さんと共に福祉の推進に努めました。

事業報告、決算報告等は、社協事務所にてご覧いただけます。また、インターネットでは、WAM NET 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムで検索してください。

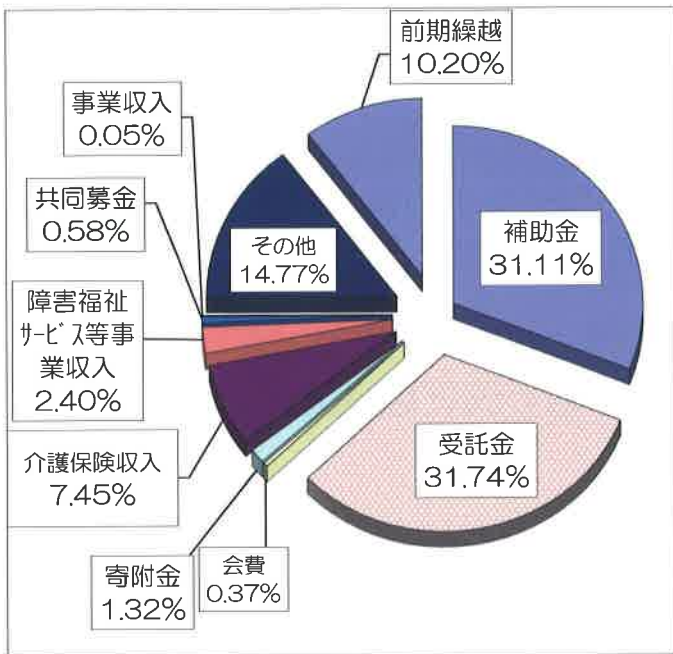
♥ 広報に関するご意見へのお返事コーナー ♥

「福祉とさちょう」をファイリングしてくださっている方へ・・・ありがとうございます。右開き、左開きの件については、職員間でも検討しています。もう少しだけ御猶予ください。

収支報告

収入の部

合計金額 107,244 千円

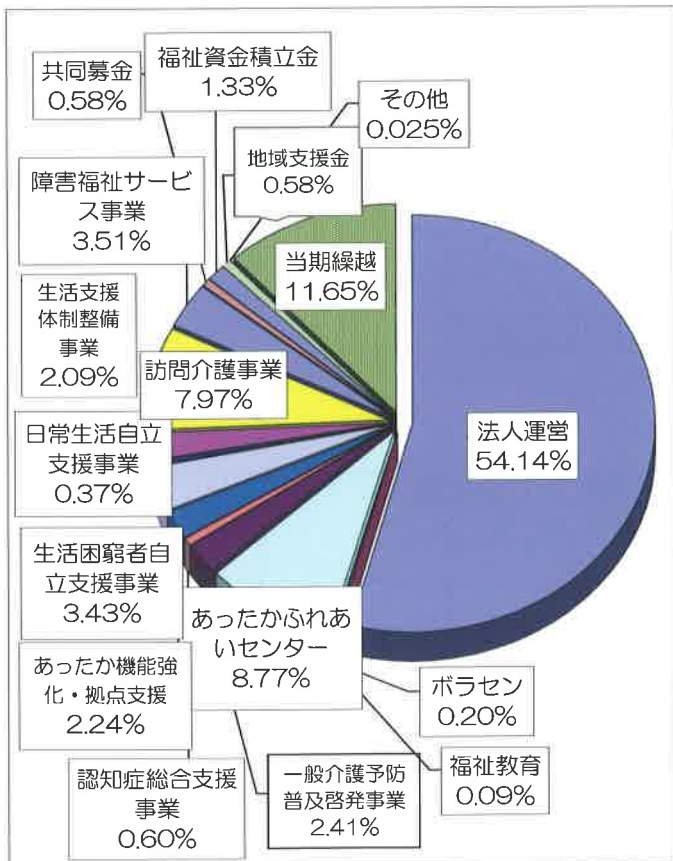


補助金	33,360 千円
受託金	34,039 千円
会費	402 千円
寄附金	1,420 千円
介護報酬等	7,989 千円
障害福祉サービス	2,577 千円
共同募金	621 千円
事業収入	55 千円
その他	15,844 千円
前期繰越金	10,937 千円



支出の部

合計金額 107,244 千円



法人運営費	58,065 千円
ボランティアセンター	214 千円
福祉教育	100 千円
あったかふれあいセンター	9,400 千円
一般介護予防普及啓発事業	2,595 千円
認知症総合支援事業	641 千円
あったかふれあいセンター(機能強化/拠点支援)	2,406 千円
生活困窮者自立支援事業	3,678 千円
日常生活自立支援事業	401 千円
生活支援体制整備事業	2,239 千円
訪問介護事業	8,552 千円
障害福祉サービス事業	3,768 千円
共同募金	622 千円
福祉資金積立	1,424 千円
地域支援金	623 千円
その他	27 千円
当期繰越金	12,489 千円

実施事業

福祉教育・ボランティアセンター事業・一般介護予防普及啓発事業・認知症総合支援事業
 訪問介護事業（介護保険・日常生活支援総合事業）・障害福祉サービス事業
 相談支援事業（障害者・児）・生活困窮者自立支援事業・日常生活自立支援事業
 あったかふれあいセンター事業・生活支援体制整備事業
 あったかふれあいセンター機能強化・拠点支援事業・訪問活動・地域の集い活動支援
 心配ごと相談所・総合相談窓口・広報活動・団体事務局・その他福祉事業

地域福祉活動計画推進懇談会

毎年、計画の推進を図るため、地区長や民生委員さんをはじめ、地域の皆さま、役場の地域担当職員、そして地域に関係する団体等の方々と社協職員が一同に会し、懇談を行っています。

令和3年度の取り組みの満足度は？

昨年度の活動の振り返りを行い、自分達の地域での活動に対する満足度をイラストで表して、確認を行いました。

地域名	活動目標	活動に対する満足度
石原	・みんなで「安心して暮らせる石原」について話し合おう	
地蔵寺	・地域の防災を考えよう ・買い物・通院などの手段を考えよう ・子育て世代も含めて、地域の見守りを進めよう	
平石	・防災をすすめよう ・地域(3地区)の維持にむけた話し合いをしよう	
森	・防災意識・関心を高めていこう ・活動計画の実行部隊をつくろう	五区・駒野 上ノ土居 中村・大谷 中央 南境・東境 南泉・宮古野   
相川	・地域で人が集まる機会を続けていこう	
和田	・「和田を元気にする会」を中心に皆で話し合い、和田の地域づくりを具体化させていこう	
田井	・地域住民のつながりを高めていこう	上野 田井 中島・樺三島   
瀬戸	・地域に住む人同士が見守り助け合い、できる限り今の生活を維持していこう	
南川	・百万遍や神祭を続けていこう ・人が暮らし続けられる南川地域を残していこう ・南川の歴史を残していこう	
松ヶ丘	・集落活動センターを立ち上げ、皆で元気な松ヶ丘を作っていこう	

第6次地域福祉活動計画

令和4年度の具体的な取り組み

懇談会では、活動の振り返りをした後、次年度の取り組みについて話し合います。それぞれの活動目標に対して地域でどのようなことを進めていくのか、具体的な内容を決めました。

社協は、各地域での計画推進に係る活動を応援していきます。



地域名	令和4年度の取り組み
石原	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の方の見守りや支援について継続して考える ②スマートウォッチやスマホを活用した健康管理の取り組みを進める ③学びの機会を作る ④チョイスソコの取り組みを継続して行う
地蔵寺	<ul style="list-style-type: none"> ①周知活動→集落活動センター便りの発刊、告知端末放送、回覧、あったかふれあいセンター等で丁寧な周知を気付ける ②集落活動センター→集落営林、里山整備、キャンプ場整備、カフェの検討をする。今までの行事（納涼祭など）の窓口や会計を集落活動センターで一本化する ③防災訓練の実施
平石	<ul style="list-style-type: none"> ①防災の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・以前作成の名簿を利用し避難訓練など県の防災の日(9/1)頃開催する ・消防の備品、使い方の確認。 ②地域で活用できるレクリエーション資材の準備 ③地域を元気に。住民の集まる機会をつくる
森	<ul style="list-style-type: none"> 五区・駒野・上ノ土居：社協出前講座を開催する 中村・大谷・中央：コロナ禍前までやってきた行事（敬老会・運動会・防災訓練等）を感染予防対策をとりながら実施する 宮古野：非常食の確認をする。コロナが落ち着いてきたら防災訓練を実施 南境：地区会で意見を聞き、防災の取り組みを考える。トキワ橋上の公園を整備したい 南泉：個々の防災意識を高めていき、個人での備えを進めていく
相川	<ul style="list-style-type: none"> ①愛校作業の実施 ②相川ららウォーキングの実施 ③旧JA相川支所のシャッターに絵を描こう ④相川フォトコンテストの実施
和田	<ul style="list-style-type: none"> ①懇談会の開催→4ヶ月に1回のペースで行う ②林業について→地区会で基幹道の開設について話を出し、意見を募る。 ③人の集まりを意図的につくっていく
田井	<ul style="list-style-type: none"> 上野：周知しやすいイベントを考え、今できることを見つけていく 中島：カレーの日、防災活動を継続して行っていく 三島・樺：消火栓を使った防災訓練等の実施。三島・樺地区合同のBBQの開催 田井：子どもから大人が参加できる防災訓練の実施
瀬戸	<ul style="list-style-type: none"> ①大人食堂を実施する（黒丸） ②観光シーズンに農作物を販売していく（下瀬戸） 皆参加してもらえるよう声掛けをしていく ③買い物支援について考える（黒丸・下瀬戸）
南川	<ul style="list-style-type: none"> ①防災訓練の実施。消費期限が近い防災食などの確認（ローリングストック） ②百万遍や神祭をできる形で実施する（百万遍祭り：7/24 予定 神祭：11月予定） ③買い物。地域で生活していくために大切な買い物について考えていく
松ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ①コロナもあるが工夫して集まる機会を作っていく。地域行事を継続して行う ②みんなの果樹園の整備、BBQ小屋の活用を考えよう ③加工場の活用について考えよう ④さまざまな世代が参加し、関われる取り組みにしていこう ⑤防災について考える機会をつくる



おめでとうございます

第8回高知の輝くシニア大賞 キラリ賞受賞

「高知のシニア大賞」は、高知県内で地域のために長年、ボランティアやスポーツ・文化などに尽力されている65歳以上のシニアを表彰するもので高知県社会福祉協議会が行っています。

今年度は、県内22名の方が受賞。土佐町から筒井賀恒さん(石原老人クラブ)がキラリ賞を受賞されました。

筒井賀恒さんは、老人クラブの地域の見守り活動の一つとして、老人給食の配食ボランティア活動を始め、以来26年間尽力されています。その活動は、まさにキラリ賞です。賀恒さんおめでとうございます。



地域貢献部門 キラリ賞

筒井賀恒さん

奥さんの鈴子さんとパチリ📷

老人クラブでお祝いをしました



地域の方の笑顔や「ありがとう」の一言が何よりの励みです。これからもできる事をして行きたいと思います。そうすることで、自分も元気になるんですよ!! と話してくれました。



～表紙の写真～

「こんにちは!!」「変わったことはないかよ～! 暑い、気をつけて!!」

見守り訪問ふれあい便での賀恒さんです



楽しく集えて 笑えて そしてためになる

土佐町老人クラブ連合会

早明浦朝霧茶、今年もできました

老人クラブでは、平成21年より、南川のお茶畑をお借りして、製茶事業を行っています。今年は、約125kgの茶葉を摘み取り、27kgの煎茶が出来上がりました。

出来上がったお茶は、「早明浦朝霧茶」としてAコープの直販コーナーなどで販売予定ですが、会員間での販売で売り切れることもあります。

もしお店で見かけたら是非ご賞味ください。

花クラブの「花いっぱい活動」の取り組み

コロナ禍でしばらく活動休止していた、「花クラブ」。友愛活動の一環として、独居高齢者や花クラブ会員に花を育ててもらい取り組みをはじめました。それぞれ花を楽しんでいただいた後、球根を回収し増やしていく予定です。今後も、花いっぱい活動を広げていきたいと思っています。



クロコスミアの球根が
順調に育っています♪



会員申込は、単位クラブ
会長もしくは老連事務局
(82-1067) まで

会員募集中!!!



土佐町老人クラブは、「健康」「友愛」「奉仕」の全国老人クラブの3大運動を念頭に、様々な取り組みを進めています。中でもエンジョイクラブは土佐町独特の取り組みで、「コーラスクラブ」「ダンスクラブ」「花クラブ」「居酒屋クラブ」「グラウンドゴルフクラブ」「もったいないクラブ」があります。コロナ禍で十分に活動ができないクラブもありますが、それぞれのクラブ会員が計画を立てて、楽しみながら活動をしています。まずは老人クラブ会員に登録をして、各クラブ活動に参加してみませんか？皆さまの参加をお待ちしています♪



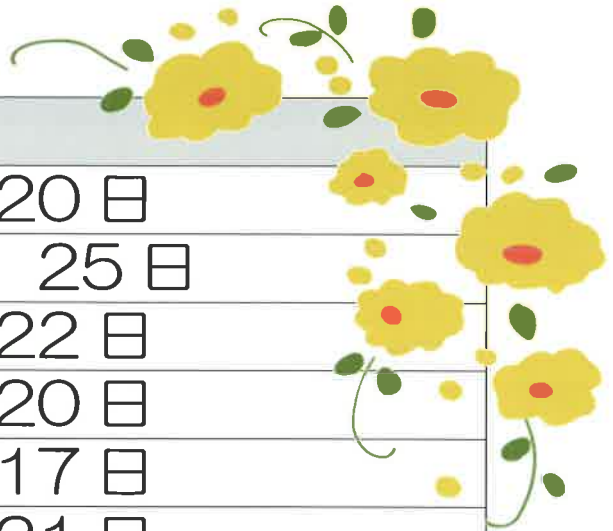
見守り訪問ふれあい便



4月から「老人給食」に変わりスタートした「見守り訪問ふれあい便」。民生委員さんやボランティアさんのご協力で月に2回訪問活動を実施しております。「お変わりないですか?」「暑くなってきたねえ」と声をかけ合い、つながりの輪が広がっています!!

【日程表】

2022年	
4月	6日、20日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
7月	6日、20日
8月	3日、17日
9月	7日、21日
10月	5日、19日
11月	2日、16日
12月	7日、21日
2023年	
1月	11日、25日
2月	8日、22日
3月	8日、22日



☆ 見守り訪問ボランティア ☆

ボランティアさんを
募集しています!!

月に1~2回(水曜日)
9時半ごろから
対象者宅への見守り訪問



「ささえ合いの地域づくり」

を推進します



事業名:生活支援体制整備事業

土佐町では、平成 29 年 4 月から生活支援体制整備事業がはじまり、生活支援コーディネーターが健康福祉課に 1 名、社会福祉協議会に 1 名が配置されました。日常生活において支援が必要な高齢者の方が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活ができるように「介護予防」を重視しながら、住民の方が主体的となって助け合い・支え合い活動ができるような「地域づくり」に取り組むものです。また、ボランティア等の担い手や地域資源の発掘、関係機関のネットワークづくりを行い、地域の中で多様なサービスが提供できるように住民の皆さんと一緒に考えていきます。

このようなことをすすめています

・通いの場づくり

介護予防や顔なじみの関係ができるように運動や体操、会食、お茶会、おしゃべりなどの趣味や関心に合わせて集まれる場所づくりをすすめます。

・見守り活動

あいさつや声かけ、ちょっと気にかけるなど、困りごとを早期に発見し、専門機関につないでいきます。

・話し合いの場づくり

地域にどのような課題があるのか、情報交換や解決するためには何が必要なのかなど話し合いができる場をつくり、地域で助け合い・支え合いができるような仕組みを考えていきます。

・生活支援コーディネーターとは

住民同士が支え合い・助け合いができる地域づくりをお手伝いする専門職です。「つどいに参加してみたい」「地域で何か活動をしたい」などありましたら、ぜひ社会福祉協議会にご連絡ください。



日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助）

自分一人で判断することが難しく困っている方を対象に、地域で安定した生活が送れるよう、日常的な金銭管理や書類等の預かりなど、福祉サービスの利用援助を行います。

こんなことで困っていたら…

- ◆福祉サービスをどんなふうに利用したらいいかわからない
- ◆お金を計画的に使うことが**むずかしい・ひとりでできない**
- ◆通帳やはんこをどこにしまったか**忘れる・保管が心配**



どんなことをしてくれるの？

福祉サービス利用援助

自分にあつた福祉サービスを一緒に考えます



日常的な金銭管理サービス

預貯金の出し入れや公共料金の支払いなど日常のお金のやりとりをお手伝いします



書類などの保管サービス

定期預金証書や実印など重要な書類を金融機関の貸金庫を利用して保管します

利用の手続きはどうすればいいの？

まずは社協にご連絡ください



専門員（社協職員）がお話をお伺いして困っていることを一緒に考え計画を作ります



本人と社会福祉協議会が契約を結び、計画にそつて支援がスタートします

利用料は？

- ★訪問などによる援助
1時間 1,500円（30分単位でも利用可能）
- ★書類などの保管サービス
年間 6,000円
- ※生活保護を受けている方は免除になります
- ★相談は無料です

福祉サービスって？

介護保険法や障害者総合支援法によるサービスなどです。例えばホームヘルプサービスや、デイサービス、外出支援サービスなどさまざまなものがあります

具体的な内容や利用方法について、説明・相談対応させていただきます。まずはお問合せ下さい。



ひよこぐみ写真館

81号



(上/土曜) もいおか **森岡** なお **奈央** ちゃん

令和2年10月23日生まれ



お姉ちゃん達に遊んでもらい、ごはんもたくさん食べ、元気に成長しています。

パパ 賢一朗さん
ママ 博子さん

かわむら あきは **川村** **秋葉** ちゃん

令和2年9月28日生まれ

お姉ちゃんたちと一緒に遊ぶことが大好き。これからも3人仲良く、元気に大きくなってね！

パパ 圭祐さん
ママ 理香さん



～ひよこぐみ写真館募集中です～
詳しくは土佐町社協へお問い合わせください！

社協への福祉のご寄附

自：R4. 4. 1

至：R4. 6. 30

地区名	氏名	金額	備考
	匿名希望様	100,000	香典返し
上野上	澤田智則様	100,000	香典返し

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。

日本赤十字社 土佐町分区

赤十字活動資金の募集にご協力いただきありがとうございました！

コロナ禍で大変な中、地域の皆様をはじめ、多くの企業・事業所の方々にご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

皆様からご協力いただきました、521,150円（6月20日現在）の活動資金を高知県支部に全額送金いたしました。

この募金は、災害救援や献血事業など、日本はもとより海外においても、多くの人命を救う為に使われています。土佐町への交付金は、災害に関する研修、防災用品の購入や防災訓練等の地域活動に活用されています。

今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社土佐町分区長 和田 守也



日本赤十字社、日赤高知県支部の活動について詳しく知りたい方はこちらのQRよりホームページをご確認ください



令和4年度

社協会費のご協力をお願いします

住民の皆様と共に「ここにおいてよかった」と言えるまちづくりをめざし、役職員一丸となって福祉事業に取り組んでいます。

福祉教育や訪問活動、社協運営の資金に活用させていただいています。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

